

学外公開用

令和3年度

卒業生・修了生へのアンケート調査  
(継続調査)

報告書

三重大学高等教育デザイン・推進機構  
高等教育開発デザイン・IRセンター



# 目次

第1章 調査の概要と分析対象者の属性について .....	1
第2章 三重大学の教育に対する満足度.....	4
第3章 三重大学の教育・研究で成長したこと .....	6
第4章 社会生活の場で重要だと思う力.....	7
第5章 三重大学で学びたいこと .....	9

# 第 1 章 調査の概要と分析対象者の属性について

## 1.1 調査の概要

### 1.1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに持続的に相応しているかを検討し、三重大学の教育の改善に活用する目的で、平成 29 年度の「三重大学卒業生」（本調査では、「卒業生」という）及び「三重大学大学院修了生」（本調査では、「修了生」という）を対象に、教育満足度や自己評価、大学／大学院生活で重点を置いたこと、社会生活の場で重要だと思った力、卒業後に役立ったと思う授業、今後三重大学で学ぶ機会があるとしたら学びたいことに関するアンケート調査を実施した。

### 1.1.2 調査の設計

- (1) 調査対象 平成 29 年度三重大学卒業生及び修了生
- (2) 調査時期 令和 4 年 2 月から 3 月 まで
- (3) 調査方法 Google Form によるウェブ調査

卒業生／修了生が在学中に届け出ていた保証人の住所宛てに、依頼状を送付し、Google Form に接続できる URL もしくは QR コードより回答を依頼した。

- (4) 回収数（率）

表 1-1 卒業生及び修了生の回収率

調査対象 発送・回収	調査対象	
	卒業生	修了生
発送数	1,379	451
回収数	154	61
回収率(%)	11.2%	13.5%

### 1.1.3 調査の内容

調査した項目内容を以下に示す。本報告書では、主に全卒業生、全修了生の数値結果を示した。しかし、本調査に応じた回答者が少ないことから、学部・研究科ごとの数値結果は示さなかった。但し、自由記述式回答に該当する第5章、第7章においては学部・研究科名を示した。実施した調査用紙は、資料として、本報告書の末尾に付録として添付した。

表 1-2 調査内容（卒業生及び修了生）

該当する章	項目内容	項目数	詳細
第1章	基本事項	5項目	学部・学科・課程／研究科・専攻、現在の職種、現在の居住地、現在の職種、転職した回数、現在の年収
第2章	本学の教育に対する満足度	卒業生:16項目 修了生:12項目 6段階評定	本学の教育に対する満足度をたずねた。 選択肢は「非常に不満」、「不満」、「やや不満」、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」の6つである。
第3章	本学の教育（・研究）で身についた4つの力	卒業生:12項目、5段階評定 修了生:12項目、自由選択	本学の教育によって、どのような4つの力が身についたと思うかをたずねた。 卒業生:身についたと思う程度を表す「身につかなかった」から「十分身についた」の4段階の中から、あてはまるものをひとつ選択。 修了生:身についたと思う力をたずねた。
第4章	社会生活の場で重要な4つの力について	12個の選択肢の中から自由選択	卒業後の社会生活の場で、重要だと思う4つの力についてたずねた。
第5章	役立ったと思う本学の授業	自由記述 2項目	卒業後、自分に役立ったと思う授業やどのような点が役立ったかについてたずねた。
第6章	本学で学びたいこと	8つの選択肢の中から自由選択	今後本学で学ぶ機会があるとしたら、学びたい内容についてたずねた。
第7章	意見と感想	自由記述	本学の教育についての意見と感想をたずねた。
第7章	大学がつけることが重要だと思う力	自由記述	大学卒業、また、修了後、大学でつけることが重要だと思った力をたずねた。

## 1.2 分析対象者の属性

### 1.2.1 在学中の所属学部／研究科

分析対象者の在学中に所属した学部、または、研究科を集計した。

表 1-3 分析対象者数（卒業生）

人文学部	教育学部	医学部	工学部	学生物資源部	無回答	合計
43	36	15	33	27	0	154

表 1-4 分析対象者数（修了生）

人文社会科学	教育学研究科	医学系研究科	工学研究科	生物資源科学	地域イノベーション研究科	無回答	合計
1	5	18	24	11	2	0	61

### 1.2.2 現在の職種

分析対象者の現在の職種を集計した。

表 1-5 分析対象者の現在の職種

	公務員	教職員	団体職員	一般企業	医療関係	自営業	大学院在学中	アルバイト	無職	その他	無回答	合計
卒業生	24	23	8	73	14	1	2	3	4	2	0	154
修了生	6	5	5	31	11	0	1	0	0	2	0	61

### 1.2.3 居住地

分析対象者の現在の居住地を集計した。

表 1-6 分析対象者の居住地

	三重県	三重県外	無回答	合計
卒業生	70	84	0	154
修了生	30	31	61	122

### 1.2.4 転職した回数

分析対象者の転職した回数を集計した。

表 1-7 分析対象者（卒業生）の転職した回数

転職した回数	度数	パーセント
1回	25	16.2
2回	3	1.9
3回以上	0	0.0
転職したことがない	126	81.8
合計	154	100.0

表 1-8 分析対象者（修了生）の転職した回数

転職した回数	度数	パーセント
1回	8	13.1
2回	1	1.6
3回以上	0	0.0
転職したことがない	52	85.2
合計	61	100.0

## 第2章 三重大学の教育に対する満足度

### 2.1 三重大学の教育に対する満足度（卒業生）

三重大学の教育（11項目）について、満足している程度を「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」の6段階で回答を求めた。以下に、全卒業生（154名）の平均値と標準偏差、満足群を示した。平均値と標準偏差は、満足の度合いを表す6段階評定において、「非常に不満」1点、「不満」2点、「やや不満」3点、「やや満足」4点、「満足」5点、「非常に満足」6点として算出した。満足群は、満足度の6段階のうち、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した卒業生の割合とした。なお、経験した卒業生のみ回答する項目として設定した「15 理系基礎関係授業」に関しては、学部によって回答者が非常に少なかった。そのため、一般化が難しい場合があることを留意する必要がある。

卒業生からの全回答（154名）の平均値と標準偏差、満足群を算出した。その結果、平均値では、すべての項目において「やや満足」に該当する4.0以上が示され、三重大学の教育に対して、総じて満足が得られていることが分かった。中でも4.50以上を示した項目は、高い順に「学習支援」、「卒業研究指導」であった。また、満足群では、項目によって89.0%から74.7%までがあり、ばらつきがそれほど大きくないことが分かった。中でも85%以上を示した項目は、高い順に「学習支援」、「教育全般」、「卒業研究指導」であった。一方、課題も見出された。まず、「現場体験学習等」、「進路支援」といった、キャリア系の授業に関して、現状では相対的に低い値が示されていることが分かった。各々の平均値は4.12、4.14、満足群は76.0%、74.7%を示した。これらの項目の標準偏差は各々1.01、1.00であった。こうした結果は、両項目に対する満足度が比較的低いうえ、満足した卒業生と満足しなかった卒業生の間のばらつきが大きいことを意味する。また、「少人数課題探求型授業」に関しても、改善の必要性が示唆された。全項目の中で最も低平均値であった4.10を示し、同項目の満足群は比較的少ない74.7%を示した。標準偏差は0.96を示した。

表 2-9 全卒業生（154名）の三重大学の教育に対する満足度

	度数	平均値	標準偏差	満足群
学習支援	154	4.58	0.97	89.0%
教育全般	154	4.32	0.85	87.0%
卒業研究指導	120	4.54	1.14	85.8%
学部専門	154	4.42	1.01	83.8%
理系基礎関係授業	62	4.21	0.99	80.6%
研究環境	154	4.19	0.97	80.5%
生活サポート	154	4.16	0.95	79.9%
教養教育	154	4.19	1.00	79.9%
現場体験学習等	154	4.12	1.01	76.0%
進路支援	154	4.14	1.00	74.7%
少人数課題探求型授業	154	4.10	0.96	74.7%

## 2.2 三重大学大学院の教育に対する満足度（修了生）

三重大学大学院の教育（12項目）について、満足している程度を「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」の6段階で回答を求めた。以下に、全修了生（61名）の平均値と標準偏差、満足群を示した。平均値と標準偏差は、満足の度合いを表す6段階評定において、「非常に不満」1点、「不満」2点、「やや不満」3点、「やや満足」4点、「満足」5点、「非常に満足」6点として算出した。満足群は、満足度の6段階のうち、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した卒業生の割合とした。

修了生からの全回答（61名）の平均値と標準偏差、満足群を算出した。その結果、平均値では、ほぼすべての項目において「やや満足」に該当する4.0以上が示され、三重大学大学院の教育に対して、総じて満足が得られていることが分かった。中でも高い平均値を示した項目は、「学位論文指導」、「日常的な研究指導」など、研究に関わる教育に対する満足度が高いことが分かった。両項目の平均値は4.48、4.43、標準偏差は1.35、1.24であった。また、満足群では、項目によって83.6%から60.7%までがあり、ばらつきが大きくないことが分かった。中でも高い満足群を示した項目は、「教育全般」、「授業科目構成」であった。両項目の平均値は4.28、4.30、標準偏差は0.92、1.02であった。一方、課題も見出された。「生活サポート」、「現場体験学習等」に関して、現状では相対的に低い値が示されていることが分かった。各々の平均値は3.84、3.72、満足群は68.9%、60.7%を示した。これらの項目の標準偏差は各々1.25、1.16であった。こうした結果は、両項目に対する満足度が比較的低いうえ、満足した卒業生と満足しなかった卒業生の間のばらつきが大きいことを意味する。

表 2-10 全修了生（61名）の三重大学大学院の教育に対する満足度

	度数	平均値	標準偏差	満足群
教育全般	61	4.28	0.92	83.6%
研究環境	61	4.11	1.13	73.8%
授業科目構成	61	4.30	1.02	80.3%
大学院の授業	61	4.20	1.09	77.0%
少人数課題探求型授業	61	3.90	1.12	70.5%
高度専門知識等の教授	61	3.93	1.28	73.8%
現場体験学習等	61	3.72	1.16	60.7%
日常的な研究指導	61	4.43	1.24	78.7%
学位論文指導	61	4.48	1.35	77.0%
進路支援	61	4.08	1.28	77.0%
学習環境	61	4.11	1.16	78.7%
生活サポート	61	3.84	1.25	68.9%

## 第3章 三重大大学の教育・研究で成長したこと

### 3.1 三重大大学の教育で成長したこと（卒業生）

三重大大学の教育によって力が身についた程度を、「かなり成長した」、「ある程度成長した」、「少し成長した」、「わずかながら成長した」、「成長しなかった」の5段階で回答を求めた（12項目）。以下に、全卒業生（154名）の平均値、修得群、標準偏差を示す。平均値と標準偏差は、身についたと感じる度合いを表す5段階評定において「かなり成長した」を5点、「ある程度成長した」を4点、「少し成長した」を3点、「わずかながら成長した」を2点、「成長しなかった」を1点として算出した。修得群は、5段階のうち「かなり成長した」、「ある程度成長した」、「少し成長した」、「わずかながら成長した」のいずれかに回答した卒業生の割合とした。なお、修了生には本質問項目についてたずねられなかった。

卒業生からの全回答（154名）について、12項目の平均値、修得群、標準偏差を算出した。その結果、平均値では、ほとんどの項目において「少し成長した」に該当する3.00以上が示され、総じて4つの力が身についたと感じていることが分かった。中でも3.50以上を示した項目は、「専門知識・技術」であった。また、修得群では、項目によって96.1%から82.5%までがあり、ばらつきが比較的小さいことが分かった。中でも95%以上を示した項目は、高い順に「専門知識・技術」、「論理的・批判的思考力」、「表現力」である。「実践外国語力」は、現状では相対的に低い値が示されていることが分かった。同項目の平均値は2.73、修得群は82.5%を示した。標準偏差は1.21であった。こうした結果は、修得率が低いうえ、修得した卒業生と修得しなかった卒業生との間のばらつきがかなり大きいことを意味する。

表 3-11 全卒業生（154名）の三重大大学の教育を通して身についた4つの力

	度数	平均値	標準偏差	修得群
感性	154	3.21	1.06	94.2%
共感	154	3.25	1.07	94.8%
主体性	154	3.23	1.09	94.2%
幅広い教養	154	3.36	1.07	94.8%
専門知識・技術	154	3.52	1.06	96.1%
論理的・批判的思考力	154	3.42	1.05	95.5%
表現力	154	3.32	1.07	95.5%
リーダーシップ・フォロワーシップ	154	2.97	1.04	91.6%
実践外国語力	154	2.73	1.21	82.5%
問題発見・解決力	154	3.20	1.06	92.9%
心身の健康に対する意識	154	3.16	1.02	92.9%
社会人としての態度・倫理観	154	3.23	1.08	93.5%

## 第4章 社会生活の場で重要だと思う力

### 4.1 社会生活の場で重要な力（卒業生）

大学卒業後の社会生活の場で特に重要だと思う力について卒業生にたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた。

卒業生からの全回答（154名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、40%以上を示した項目は、高い順に「表現力（発表・討論・対話）『コミュニケーション力』」、「主体性『感じる力』」、「論理的・批判的思考力『考える力』」であった。

表 4-12 全卒業生（154名）が思う社会生活において重要だと思う力

	度数	パーセント
感性「感じる力」	21	13.6
共感「感じる力」	37	24.0
主体性「感じる力」	69	44.8
幅広い教養「考える力」	61	39.6
専門知識・技術「考える力」	57	37.0
論理的・批判的思考力「考える力」	66	42.9
表現力（発表・討論・対話）「コミュニケーション力」	84	54.5
リーダーシップ・フォロワーシップ「コミュニケーション力」	46	29.9
実践外国語力「コミュニケーション力」	30	19.5
問題発見・解決力「生きる力」	60	39.0
心身の健康に対する意識「生きる力」	48	31.2
社会人としての態度・倫理観「生きる力」	53	34.4

## 4.2 社会生活の場で重要な力（修了生）

大学院修了後の社会生活の場で、特に重要だと思う力について修了生にたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、自由に選択するように求めた（選択肢は卒業生と共通）。

全修了生（61名）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、40%以上を示した項目は、高い順に「論理的・批判的思考力『考える力』」、「表現力（発表・討論・対話）『コミュニケーション力』」、「幅広い教養『考える力』」、「専門知識・技術『考える力』」、「問題発見・解決力『生きる力』」、「主体性『感じる力』」、「リーダーシップ・フォロワーシップ『コミュニケーション力』」、「心身の健康に対する意識『生きる力』」であった。また、「社会人としての態度・倫理観『生きる力』」は40%に若干至らない39.3%を示した。

表 4-13 全修了生（61名）が思う社会生活において重要だと思う力

	度数	パーセント
感性「感じる力」	17	27.9
共感「感じる力」	17	27.9
主体性「感じる力」	30	49.2
幅広い教養「考える力」	35	57.4
専門知識・技術「考える力」	35	57.4
論理的・批判的思考力「考える力」	45	73.8
表現力（発表・討論・対話）「コミュニケーション力」	42	68.9
リーダーシップ・フォロワーシップ「コミュニケーション力」	26	42.6
実践外国語力「コミュニケーション力」	14	23.0
問題発見・解決力「生きる力」	34	55.7
心身の健康に対する意識「生きる力」	25	41.0
社会人としての態度・倫理観「生きる力」	24	39.3

## 第5章 三重大学で学びたいこと

### 5.1 三重大学で再び学ぶ機会があれば、学びたいこと（卒業生）

三重大学で再び学ぶ機会があれば、学びたいことについて卒業生にたずねた。回答は、9個の選択肢の中から自由に選択するように求めた。

卒業生からの全回答（154名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「これ以上学びたくない」は0.0%を示し、卒業生は三重大学で再び学ぶことに対して肯定的に捉えていることが分かった。学びたいことに関して35%以上を示した項目は、高い順に「特定の専門的知識の授業（資格取得など）」、「仕事に役立つスキルの授業（パソコンスキル、資料作成スキルなど）」といったキャリア系の項目であった。このことは、「令和3年度修了生アンケート」（令和4年6月13日現在、未公開）で示された結果と一致することが分かった。三重大学が教育を提供する方法に関する項目（「1回限り…」、「体系的な…」）においては、「（継続した授業ではない）1回限りの講演会、体験会など」が7.8%であったことに対し、「（個別の授業ではない）体系的な社会人向けの大学院課程」は3.2%を示した。他には、修了生の結果に比べて、全体的に選択率が低いことが特徴的であった。

表 5-14 全卒業生（154名）の 三重大学で再び学ぶ機会があれば、学びたいこと

項目	度数	パーセント
特定の専門的知識の授業(資格取得等)	23	14.9
幅広い教養を学ぶ授業	17	11.0
仕事に役立つスキルの授業(パソコンスキル、資料作成スキル等)	19	12.3
受験生同士が協同しながら情報交換できる授業(ワークショップ等)	0	0.0
(継続した授業ではない)1回限りの講演会、体験会等	12	7.8
(個別の授業ではない)体系的な社会人向けの大学院課程	5	3.2
表現力(発表・討論・対話)「コミュニケーション力」	0	0.0
特に希望はない／思いつかない	1	0.6
これ以上学びたくない	0	0.0

## 5.2 三重大学で再び学ぶ機会があれば、学びたいこと（修了生）

三重大学で再び学ぶ機会があれば、学びたいことについて卒業生にたずねた。回答は、9個の選択肢の中から自由に選択するように求めた。

修了生からの全回答（61名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「これ以上学びたくない」は4.9%を示し、卒業生は三重大学で再び学ぶことに対して肯定的に捉えていることが分かった。学びたいことに関して35%以上を示した項目は、高い順に「特定の専門的知識の授業（資格取得など）」、「幅広い教養を学ぶ授業」であった。「特定の専門的知識の授業（資格取得など）」に関しては、「令和3年度修了生アンケート」（令和4年6月13日現在、未公開）で示された結果と一致することが分かった。三重大学が教育を提供する方法に関する項目（「1回限り…」、「体系的な…」）においては、「（継続した授業ではない）1回限りの講演会、体験会など」と「（個別の授業ではない）体系的な社会人向けの大学院課程」が各々19.7%を示した。「令和3年度修了生アンケート」において両項目の選択率が各々22.8%、10.9%であったことを考慮すると、「（個別の授業ではない）体系的な社会人向けの大学院課程」に対する選択率が比較的高いことが分かる。他には、卒業生の結果に比べて、全体的に選択率が高いことが特徴的であった。

**表 5-2 全修了生（61名）の 三重大学、または、三重大学大学院で  
再び学ぶ機会があれば、学びたいこと**

項目	度数	パーセント
特定の専門的知識の授業(資格取得等)	35	57.4
幅広い教養を学ぶ授業	20	32.8
仕事に役立つスキルの授業(パソコンスキル、資料作成スキル等)	15	24.6
受験生同士が協同しながら情報交換できる授業(ワークショップ等)	0	0.0
(継続した授業ではない)1回限りの講演会、体験会等	12	19.7
(個別の授業ではない)体系的な社会人向けの大学院課程	12	19.7
表現力(発表・討論・対話)「コミュニケーション力」	0	0.0
特に希望はない／思いつかない	5	8.2
これ以上学びたくない	3	4.9

## — 資料 —

- アンケート用紙（卒業生対象、修了生対象）
- 令和4年度 平成29年度 卒業生・修了生対象  
アンケート調査（継続調査）各種グラフ



問7 三重大学では、次に掲げる各要素からなる「4つの力」（「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」）を身に付けた学生に対して、学位を授与する方針を掲げています。あなたは三重大学の教育で「4つの力」の各要素が成長したと思われますか。当てはまる数字に○をつけてください。

	成長しなかった	わずかが成長した	少し成長した	ある程度成長した	かなり成長した
1. 感性「感じる力」	1	2	3	4	5
2. 共感「感じる力」	1	2	3	4	5
3. 主体性「感じる力」	1	2	3	4	5
4. 幅広い教養「考える力」	1	2	3	4	5
5. 専門知識・技術「考える力」	1	2	3	4	5
6. 論理的・批判的思考力「考える力」	1	2	3	4	5
7. 表現力（発表・討論・対話）「コミュニケーション力」	1	2	3	4	5
8. リーダーシップ・フォロワーシップ「コミュニケーション力」	1	2	3	4	5
9. 実践外国語力「コミュニケーション力」	1	2	3	4	5
10. 問題発見・解決力「生きる力」	1	2	3	4	5
11. 心身の健康に対する意識「生きる力」	1	2	3	4	5
12. 社会人としての態度・倫理観「生きる力」	1	2	3	4	5

問8 三重大学の「4つの力」の各要素につき、大学卒業後の社会生活の場であなたが重要だと思うものすべてについて、チェックボックスへチェックを入れてください。

チェックを入れる項目はいくつでも構いません。 (チェックを入れる例) ㊑

- |  |                                       |  |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 感性               | <input type="checkbox"/> 2. 共感        | <input type="checkbox"/> 3. 主体性          |
| <input type="checkbox"/> 4. 幅広い教養            | <input type="checkbox"/> 5. 専門知識・技術   | <input type="checkbox"/> 6. 論理的・批判的思考力   |
| <input type="checkbox"/> 7. 表現力（発表・討論・対話）    |                                       |  |
| <input type="checkbox"/> 8. リーダーシップ・フォロワーシップ |                                       |  |
| <input type="checkbox"/> 9. 実践外国語力           | <input type="checkbox"/> 10. 問題発見・解決力 | <input type="checkbox"/> 11. 心身の健康に対する意識 |
| <input type="checkbox"/> 12. 社会人としての態度・倫理観   |                                       |  |

問9 在学中に受講した授業のうち、大学を卒業してから自分に役立ったと思う授業※があればお書きください。覚えていない授業名があれば記入してください。

※現在の仕事や学習、研究、生活などに役立ったと思う授業

問10 その授業のどのような点が役立ったと思いますか。

問 11 今後もし三重大学で学ぶ機会があるとしたら、どのような内容を希望しますか。  
当てはまる項目に○をつけてください。○をつける項目はいくつでも構いません。

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| 1. 特定の専門的知識の授業（資格取得等）              | 2. 幅広い教養を学ぶ授業 |
| 3. 仕事に役立つスキルの授業（パソコンスキル、資料作成スキル等）  |               |
| 4. 受講生同士が協同しながら情報交換できる授業（ワークショップ等） |               |
| 5. （継続した授業ではない）1 回限りの講演会、体験会等      |               |
| 6. （個別の授業ではない）体系的な社会人向けの大学院課程      |               |
| 7. 特に希望はない／思いつかない                  | 8. これ以上学びたくない |

Ⅲ. 三重大学へのご意見についてお聞きします。

問 12 三重大学の教育に関してご意見や感想がございましたら、下の枠内にお書きください。  
今後の教育改善に役立てたいと考えております。

問 13 卒業されてからまもなく 4 年が経とうとしていますが、振り返って大学でどのような力をつけることが、就職やこれからの人生で重要になると感じますか。

## 三重大学大学院における大学院教育についてのアンケート 修了生用

※本調査票は御参考です。実際は google form にて実施します。

### I. はじめに基本事項についてお聞きします。

以下について、記入又はあてはまるものに○をつけてください。

問1 在学中の所属 (  【選択】 ) 研究科 (  【記述】 ) 専攻

問2 現在の居住地 [ 三重県 ・ 三重県外 ]

問3 現在の職種 { 公務員 ・ 教職員 ・ 団体職員 ・ 一般企業  
医療関係 ・ 自営業 ・ 大学院在学中  
アルバイト ・ 無職 ・ その他 (  ) }

問4 大学院修了から現在までに、転職をしましたか。転職をされた方は、回数も併せて教えてください。

[はい (1回転職) / はい (2回転職) / はい (3回以上転職) / いいえ]

問5 もしよろしければ、あなたの現在のだいたいの年収区分を教えてください。

[~300万円 / 300万円~500万円 / 500万円~700万円 / 700万円~1,000万円 / 1,000万円~]

### II. 三重大学大学院の教育についてお聞きします。

問6 あなたが受けた三重大学大学院の教育に関してどのくらい満足していますか。当てはまる数字に○をつけてください。

		非 常 に 不 満	不 満	や や 不 満	や や 満 足	満 足	非 常 に 満 足
1. 教育全般	1	2	3	4	5	6	
2. 研究環境 (文献、機器・研修水準など)	1	2	3	4	5	6	
3. 大学院の授業科目構成	1	2	3	4	5	6	
4. 大学院の授業	1	2	3	4	5	6	
5. PBLなどの少人数課題探求型の授業	1	2	3	4	5	6	
6. 最先端の研究や高度専門知識の教授	1	2	3	4	5	6	
7. 現場体験実習やインターンシップなど	1	2	3	4	5	6	
8. 日常的な研究指導	1	2	3	4	5	6	
9. 学位論文指導	1	2	3	4	5	6	
10. 進路支援 (就職や進学、資格取得など)	1	2	3	4	5	6	
11. 学習環境 (図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	1	2	3	4	5	6	
12. 学生生活に対するサポート	1	2	3	4	5	6	

問7 三重大学の「4つの力」の各要素につき、大学院修了後の社会生活の場であなたが重要だと思うものすべてについて、チェックボックスへチェックを入れてください。

チェックを入れる項目はいくつでも構いません。 チェックを入れる例) ㊑

- |  |                                       |  |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 感性               | <input type="checkbox"/> 2. 共感        | <input type="checkbox"/> 3. 主体性          |
| <input type="checkbox"/> 4. 幅広い教養            | <input type="checkbox"/> 5. 専門知識・技術   | <input type="checkbox"/> 6. 論理的・批判的思考力   |
| <input type="checkbox"/> 7. 表現力（発表・討論・対話）    |                                       |  |
| <input type="checkbox"/> 8. リーダーシップ・フォロワーシップ |                                       |  |
| <input type="checkbox"/> 9. 実践外国語力           | <input type="checkbox"/> 10. 問題発見・解決力 | <input type="checkbox"/> 11. 心身の健康に対する意識 |
| <input type="checkbox"/> 12. 社会人としての態度・倫理観   |                                       |  |

問8 在学中に受講した授業のうち、大学院を修了してから自分に役立ったと思う授業※があればお書きください。覚えている授業名があれば記入してください。

※現在の仕事や学習、研究、生活などに役立ったと思う授業

問9 その授業のどのような点が役立ったと思いますか。

問10 今後もし三重大学または大学院で学ぶ機会があるとしたら、どのような内容を希望しますか。当てはまる項目に○をつけてください。○をつける項目はいくつでも構いません。

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| 1. 特定の専門的知識の授業（資格取得等）              | 2. 幅広い教養を学ぶ授業 |
| 3. 仕事に役立つスキルの授業（パソコンスキル、資料作成スキル等）  |               |
| 4. 受講生同士が協同しながら情報交換できる授業（ワークショップ等） |               |
| 5. （継続した授業ではない）1回限りの講演会、体験会等       |               |
| 6. （個別の授業ではない）体系的な社会人向けの大学院課程      |               |
| 7. 特に希望はない／思いつかない                  | 8. これ以上学びたくない |

Ⅲ. 三重大学大学院へのご意見についてお聞きします。

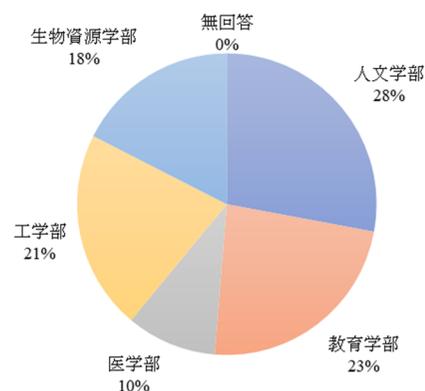
問11 三重大学大学院の教育に関してご意見やご感想がございましたら、御入力ください。今後の教育改善に役立てたいと考えております。

問12 大学院を修了されてからまもなく4年経とうとしていますが、振り返って大学院でどのような力をつけることが、就職やこれからの人生で重要になると感じますか。

在学時の所属

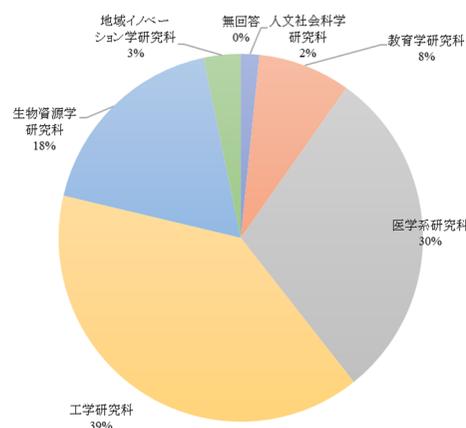
〈卒業生〉

人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	無回答	合計
43	36	15	33	27	0	154



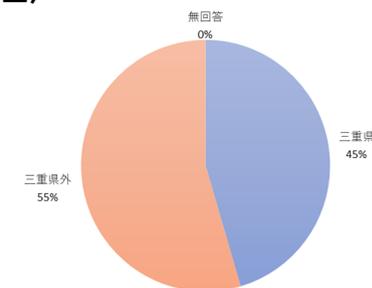
〈修了生〉

人文社会科学部	教育学研究科	医学系研究科	工学研究科	生物資源研究科	地域イノベーション学研究所	無回答	合計
1	5	18	24	11	2	0	61

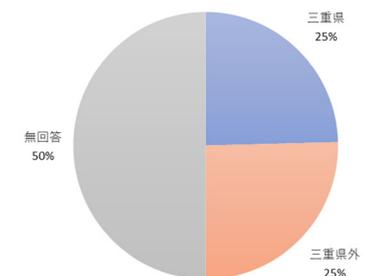


居住地

〈卒業生〉

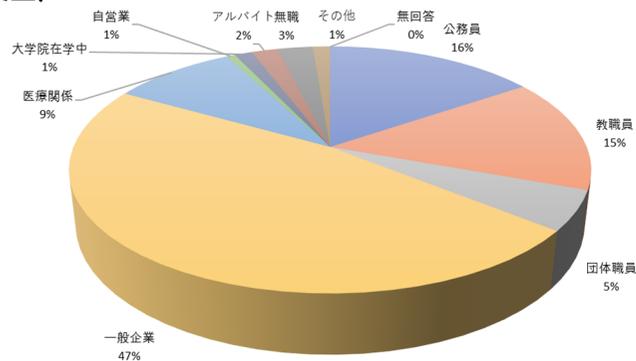


〈修了生〉

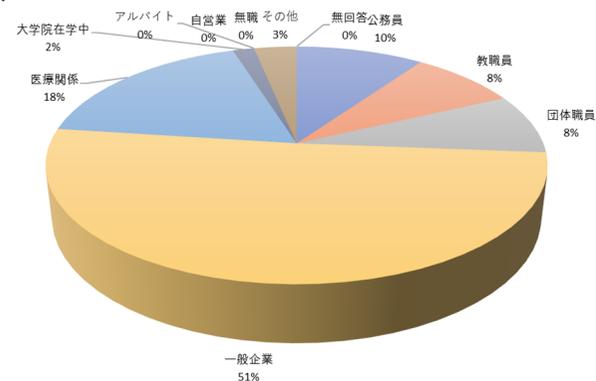


現在の職種

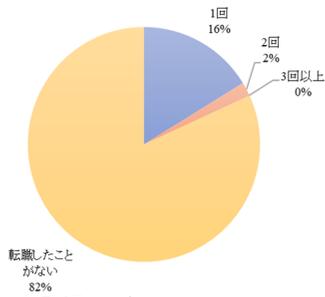
〈卒業生〉



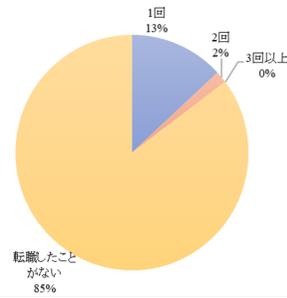
〈修了生〉



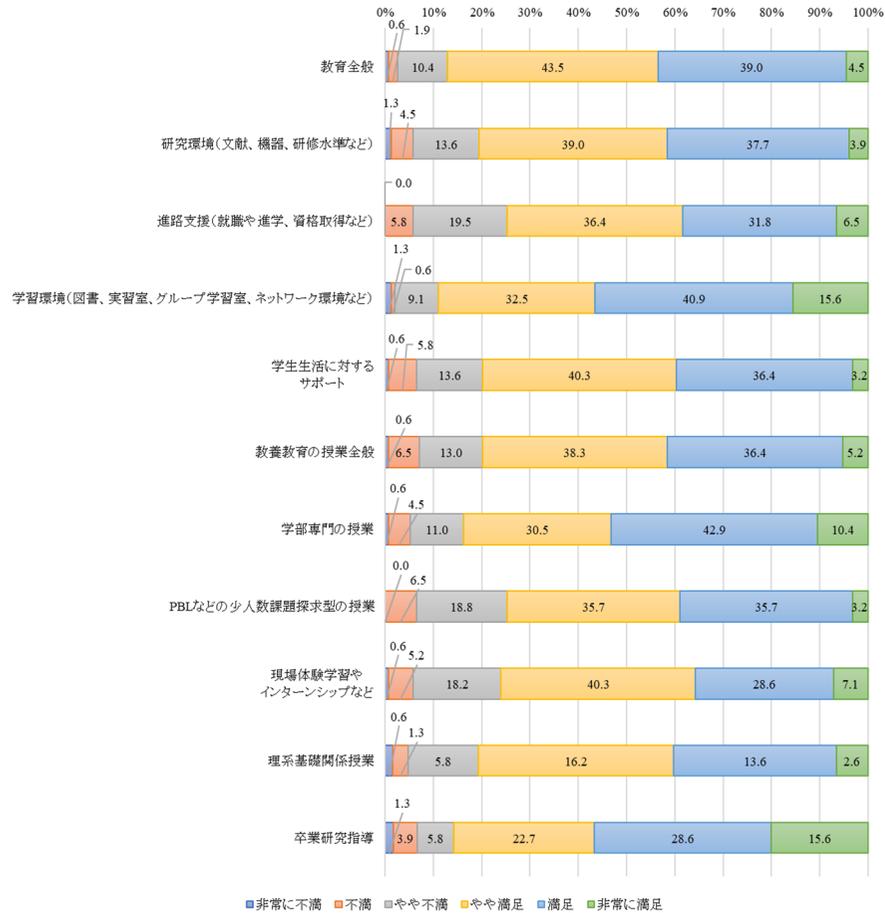
### 転職した回数 (卒業生)



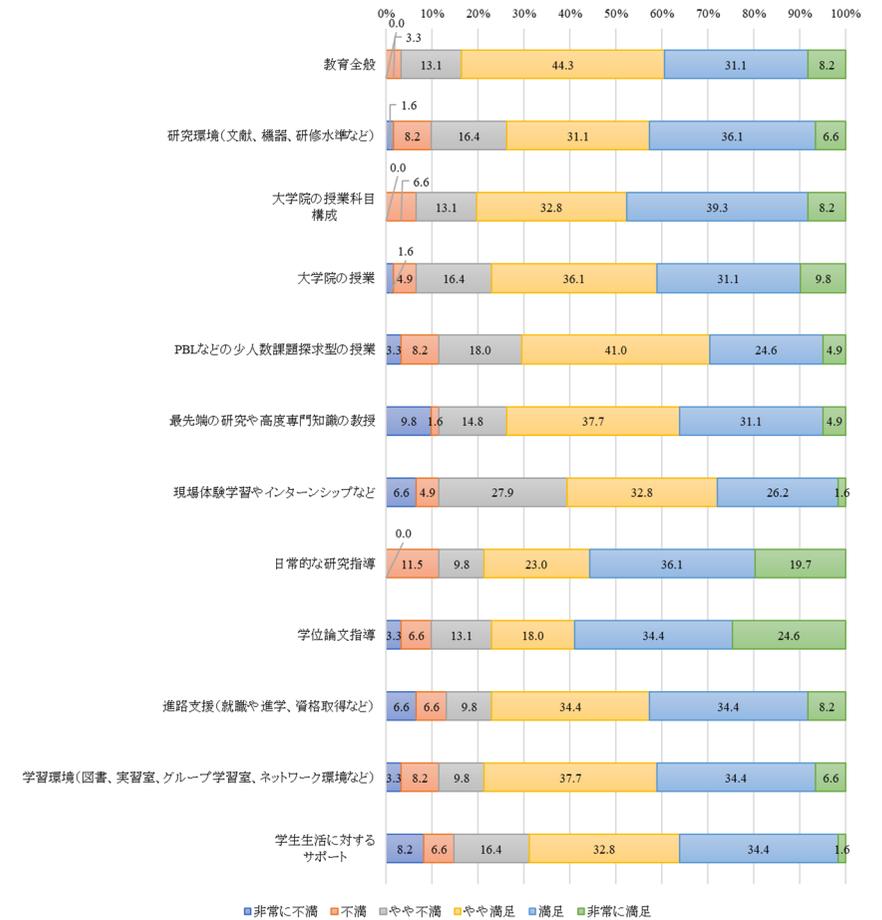
### 〈修了生〉



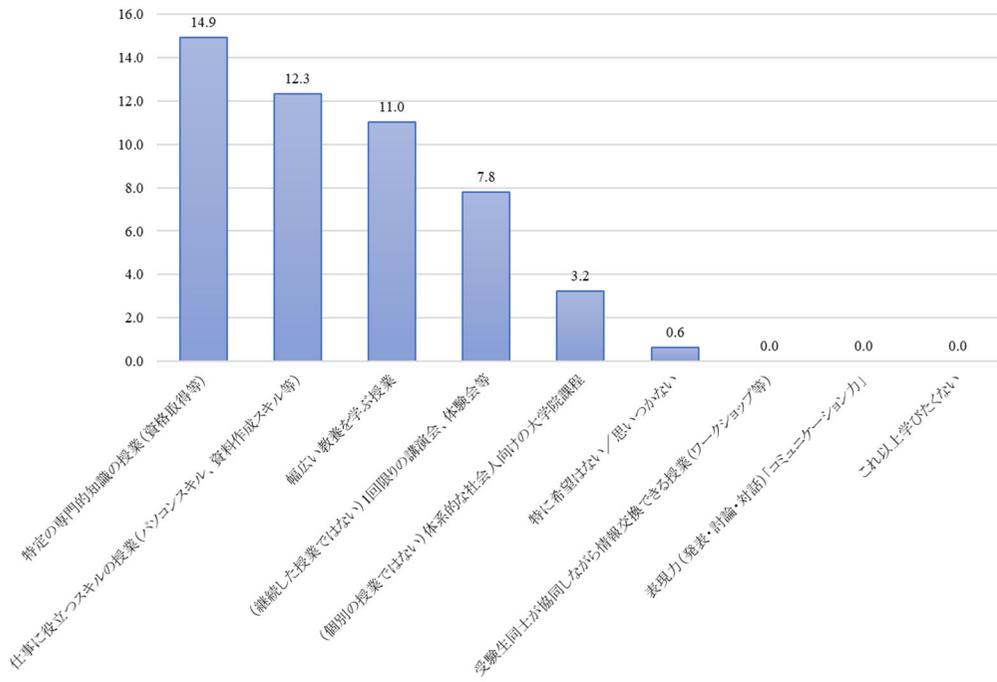
### 教育に対する満足度 (卒業生)



### 〈修了生〉



大学で学びたいこと  
〈卒業生〉



〈修了生〉

